

# はやま住民福祉センターだより

今月のテーマ

コロナ禍における地域福祉活動 ~with コロナでも歩みを止めない~

葉山町においても、第7波が押し寄せ、感染者数が急増しています。

再び、人と人とのつながりや関わりづくりなどを重視して、住民主体で実施されてきた助け合い・支え合いの活動、小地域福祉活動、ボランティア・市民活動などが、自粛や中止にならざるを得ない状況となり、地域福祉活動を進めづらい状況にあります。

一方で、「集いの場」などの参加者などからは、外出や人と交流する機会が著しく減り、特に高齢者は、認知機能や体力の低下、生きがいや楽しみなどの生活意欲の低下が起こっている様子が伺えます。

また、収入の減少や離職など経済的な問題に直面する世帯の急増、新たな生活様式におけるストレスなど、これまでとは異なる生活問題や地域課題が生まれています。

新型コロナウイルス感染症の収束時期の見通しが立たない現状ではありますが、そういう状況下だからこそ、人と人、人と社会のつながりと関係を維持させるとともに、新たな生活問題や地域課題に応じて、柔軟で創意工夫をした地域福祉活動を展開していくことが求められています。

感染症対策を徹底し、工夫のある地域福祉活動を続けましょう！

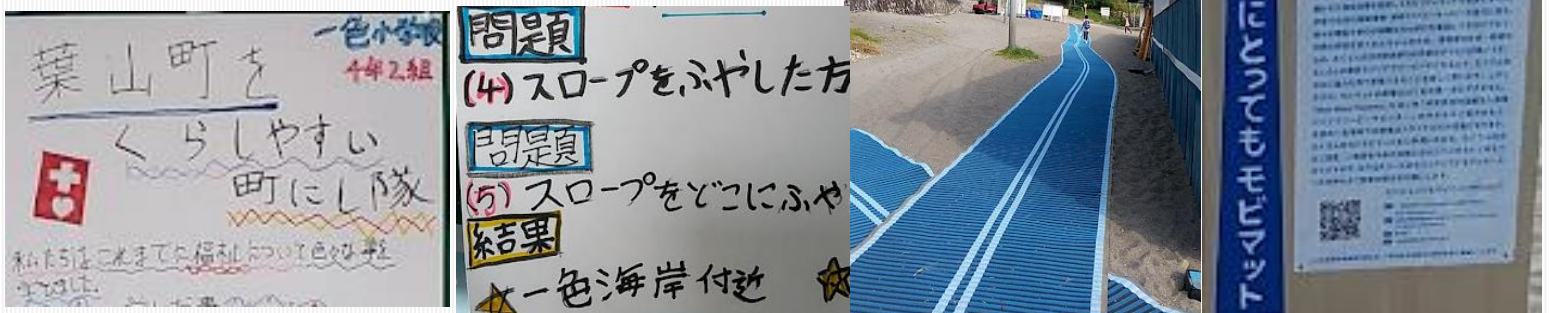
厚生労働省では、新型コロナウイルス感染症に気をつけつつ、高齢者の方々が健康を維持するための情報を紹介しています。ぜひチェックしてみてください。



## 2021年度一色小学校4年生が集めてくれた募金を活用し、一色海岸をバリアフリーに！

2021年度の一色小学校4年生が、総合学習の時間に福祉について学びました。葉山町社協からは、高齢者疑似体験セットの貸出し、盲導犬ユーザーと聴覚障がい者の紹介、車イスのまま乗車できる車と車椅子の操作方法について関わらせていただきました。その後、有志の子どもたちが募金を集め、葉山町社協に暮らしやすい葉山町の提案と集めた募金を託してくれました。「一色海岸付近にスロープを」とのことで、海岸まで車イスのまま行くことができるマット「モビマット」を設置するプロジェクトに寄付金として協力をさせていただきました。車椅子ユーザーだけではなく、一般の人からベビーカーを押すお母さんたちにまで好評でした。

このマットが特別なものではなく、どこの海にも当たり前、いつでも敷いてあると、誰にとってもいいビーチになるかと思えます。どうもありがとうございました。



## 葉山町社協のSNSをぜひ、フォローしてください！

葉山町社協では、地域の情報や社協の事業などを紹介するため、SNSを活用しております。ぜひチェックしてみてください。フォローよろしくお願いたします！

葉山町社協事務局

Facebook Instagram Twitter



堀内地区協議体

Facebook Instagram



不登校・ひきこもりの家族会  
葉山 ゆずり葉の会

8/18(木)9/29(木) 家族会開催  
10:00~不登校  
13:30~ひきこもり  
会場: 葉山町社協2階会議室

申込・問合せ  
zushi.yuzurihanokai@gmail.com  
https://yuzuriha.jimdosite.com/